

令和3年度北海道留寿都高等学校自己評価結果の学校関係者評価

学校名	北海道留寿都高等学校
-----	------------

分野	No	評価項目	達成状況	取組の適切さ	今後の取組の方向性や改善の方策	学校評議員からの意見・要望	自己評価の結果の内容の適切さ	取組の適切さ	今後の改善の方策の適切さ
学習指導	1	学校の教育目標及び生徒や保護者の要望等を十分踏まえた教育課程が編成されている。(教育課程とは、各教科のみならず特別活動等も含めた学校の総合的な教育計画のこと)	A	A	① 地域や保護者の要望をていねいにくみ上げながら教育課程の編成に当たる。 ② 教育課程が改訂される令和4年度入学生以降のシラバス等の準備を進める。 ③ 単元配列表を元に教科横断的なカリキュラムを策定する。 ④ ICT機器を積極的に活用しながら授業改善に当たる。 ⑤ 観点別評価を全体周知して効果的な取組となるよう創意工夫・改善を行う。 ⑥ 公開授業を記録として残し活用できないか検討する。 ⑦ 授業改善セミナー等各種研修を周知しながら積極的な参加を促す。	① ICT機器を効果的に利用しながら生徒一人ひとりの能力を引き出す学習指導をお願いしたい。 ② 地域の農業・福祉や生徒のニーズに合った教育課程の編成を行うとともに個別の指導を充実させてください。	A	A	A
	2	前年度の教育課程の評価・反省がなされ、改善事項が明確にされて次年度の教育課程の編成や実施に生かされている。	A	A					
	3	学習指導の準備や実施にあたって、学年間や教科間の連携・協力が十分に行われている。	A	A					
	4	各教科・科目等の指導で、生徒の興味・関心を喚起するため常に授業の工夫改善がなされている。	A	A					
	5	各教科・科目のシラバスを作成し、学習の目的や学習方法等を事前に生徒に説明している。	A	A					
	6	教科指導目標を明確にし、教科ごとの学習指導法及び評価の研究に努めている。	A	A					
	7	教科の研修はもとより、校内研究・研修に関する年間計画が策定され積極的に推進されている。	A	A					
生徒指導	8	生徒指導の目標・重点が明確にされ、各教科・特別活動との関連や家庭・地域との連携を図った全体計画が作成されている。	A	A	① 全体計画は他校の実践事例を参考にする。 ② 生徒一人ひとりに寄り添う指導を心掛けサポート委員会の活用を継続する。 ③ スマホの利用とあわせて継続的かつ組織的な指導を行う。 ④ 思いやりを持ち学校全体で生徒を見守る気持ちを大切にす。 ⑤ ホームルーム経営は年間計画に沿った活動を実施する。 ⑥ 運営側の生徒役員に対する指導もあわせて実施する。 ⑦ 計画的な学習指導を継続する。	① 礼儀、服装、言葉遣い等、思いやりを持ち学校全体で生徒を見守ってください。 ② 生徒が高校生活の中で社会の一員になる準備をしていると思えるような指導に取り組んでください。	B	A	A
	9	教育相談については外部の諸機関との連携も含め、組織的な協力体制のもとで進められている。	A	A					
	10	健康・安全教育の目標・重点が明確にされ、生徒が命の大切さを理解し健康で安全な生活が送れるような指導がなされている。	A	A					
	11	教育活動全体を通じて互いを思いやる気持ちを育ていじめの予防に努めるとともに、全教職員でいじめの早期発見・早期解消に努めている。	A	A					
	12	ホームルーム経営が家庭及び他学年や関係分掌との連携のもと、計画的かつ円滑に行われている。	A	A					
	13	全ての生徒・教職員が生農会(生徒会)行事の意味やねらいを理解し、生徒の活動に積極的に関わっている。	B	B					
	14	部活動への積極的な参加を促すとともに、学習と両立させる工夫や指導が十分に行われている。	B	B					

令和3年度北海道留寿都高等学校自己評価結果の学校関係者評価

分野	No	評価項目	達成状況	取組の適切さ	今後の取組の方向性や改善の方策	学校評議員からの意見・要望	自己評価の結果の内容の適切さ	取組の適切さ	今後の改善の方策の適切さ
進路指導	15	進路実現に係る様々な情報や資料の収集に努め、迅速かつ適正な情報提供を行っている。	A	A	① 講話や職業別ガイダンスにおいて外部の人材・機関の有効活用を図る。 ② 入学から卒業まで自分の将来をイメージしながらキャリア指導にあたる。 ③ 今年度から導入しているキャリアパスポートの利用を促進する。	① 保護者の学校に対する評価、満足度は高い。多様な生徒に対するキャリア教育を今後も充実させてほしい。 ② OBの方や地域の方の経験を自分の将来と結び付けて将来を考えるきっかけとしてください。	A	A	A
	16	一人ひとりの生徒の自己実現を援助するために、入学から卒業までを見越した計画的な進路指導を行っている。	A	A					
	17	職場体験、進路講話、施設見学などを通じて自己の生き方や将来の展望を考えさせる、キャリア教育を行っている。	A	A					
寮運営	18	寮の運営が家庭、学年および関係者との連携のもと円滑に行われている。	A	A	① 改訂された規約のもとに寮務の生徒の成長を促し生徒の自治的な対応を心掛ける。	① 新型コロナウイルス感染症対策など今後も迅速な対応を心がけてください。	A	A	A
専門教育	19	農業や福祉の実習を通して関連する知識の習得や技術を高めるとともに、望ましい学習態度の育成が図られている。	A	A	① 地元福祉施設との連携を図りながら情報交換に努める。普及所と連携しながらJGAP認証を受ける。 ② 校内実施となったがコロナ禍の制約がなくなればより高い教育効果が期待される。	① 農業関連施設の老朽化が進んでおり、施設の更新が必要です。 ② 卒業生で入職された方々も皆様、熱心に前向きに業務に取り組まれています。これらは日頃の指導の成果ではないかと感じております。	A	A	A
	20	農業や福祉の校外実習の目標が生徒に十分説明され、教育効果の高いものになっている。	A	A					
家庭・地域との連携	21	全教職員がPTA活動に積極的に関わろうとし、充実した活動になるように努めている。	B	B	① コロナ禍に対応した企画立案を継続する。 ② 学校便りの作成を継続し、村と連携しながらホームページのリニューアルを図る。	① PTAに対する対応もしっかりされていると思います。その人毎に期待ニーズが異なると思いますので、それを認識した時点で新たな対応策を準備されていることを評価したいです。	B	A	A
	22	学校の教育課程や特色ある教育活動などについて、保護者や地域の人々に対して十分な説明がなされている。	A	A					
組織運営	23	教育目標には生徒、保護者、地域住民の要望が反映されている。	A	A	① 農業・介護福祉士の人材育成について村と緊密な連携を図る。 ② 分掌間の連携を図りながら継続する。 ③ 年度末反省をもとに改善を図りながら継続する。 ④ 分掌会議の定例化を図る。 ⑤ 学年の引き継ぎやLHRの計画を確実に実行。 ⑥ 学年間の連携強化を図りながら今後も継続する。 ⑦ 村教育委員会と連携しながら計画的な施設・設備の更新、整備を行う。 ⑧ 学校事務との連携を図りながら継続する。	① 先進的な農業技術を進めるために、効果的な施設、設備の更新を地域、留寿都村教育委員会と連携してください。 ② コロナ禍において、大変な運営の中、評価点が高く適正に進んでいると思います。	A	A	A
	24	学校の教育目標を具現化するという意識のもと各分掌・学年の計画が作成され、その計画を常に意識しつつ日常の教育活動が行われている。	A	A					
	25	各分掌・学年の評価・反省が適切に行われており、それに基づいて年度の重点目標の設定や学校課題の改善が図られている。	A	A					
	26	重点目標の実現を図るため、各分掌の運営計画及び学年目標の設定や経営計画の作成がなされている。	A	A					
	27	各分掌・学年・委員会の活動についての評価・反省が計画的に行われており、改善・充実が図られている。	A	A					
	28	各分掌・学年の文書や資料が整理・保管されており、事務の引継ぎや相互の連絡調整がスムーズに行われている。	A	A					
	29	施設・設備及び教材・教具の現有状況が明確であり、定期的に点検され年度ごとの整備・拡充計画が立てられている。	B	B					
	30	学校事務が適切かつ円滑に行われている。	A	A					